

# 平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(2年目)案件:2006年12月分

番号

実施団体名/今月の事業実施状況/担当者のコメント

## 1. 小樽商工会議所【OTARU-ガラス工芸品の世界ブランド化プロジェクト】

### <今月の事業実施状況>

●12月1日～7日に台湾 太平洋そごう台北忠孝館11階にて「小樽ガラス展」および市場調査を実施

#### (展示概要)

現地には、副実行委員長1名、参加事業者3名、事務局1名が参加。

会場では、平成17年度JAPANブランド育成支援事業の中で、小樽とガラスの関わりのルーツである、ガラスの浮き玉色(青～青緑)を小樽ガラスのイメージカラーとして制作した試作品および参加ガラス工房の工芸品計284点を展示した。

期間中の来場者は約2,000人。

#### (市場調査)

展示会場において、来場者に対して、試作品のカラー設定やデザイン、価格設定等に関するアンケート調査を実施し、486人から回答を得た。その結果、小樽ガラスのイメージカラーに設定した青緑色が大変好意的に受け入れられたほか、小樽をイメージする色として、青緑色のほかに雪から連想される「白」を挙げる人が多かった。また、気に入った試作品を挙げてもらったところ、青緑色のほかに白色や制作技法としての「泡」が使われている作品が好まれる傾向があらわれた。泡は小樽の海をイメージするものでもあり、今後の小樽ガラスを考えていく中で、青緑、白、泡という3つがキーワードとして浮かび上がった。

また、みずほコーポレート銀行台北支店を訪問し、台湾の経済状況について調査を行った。データについては現在分析中。



小樽ガラス展 12/1～7  
(台湾 太平洋そごう台北忠孝館)

### <担当者のコメント>

試作品に関して、台湾や中国などでは赤や金など比較的派手な色が好まれる傾向にある中、小樽ガラスのイメージカラーとして浮き玉の色(青～青緑)を設定したことについて、当初、台湾の方々にとっては地味なカラーと映るのではないかという不安もあったが、実際に試作品を見てもらったところ、ほとんどの回答者から「良い色」との評価を得ることができた。これは、中国で古くから価値のある宝石としてプレスレットなどの装飾品に用いられている高級な「翡翠(ひすい)」の色と浮き玉の色が近いことが、台湾の方々にも好意的に受け入れられる理由になっていると思われる。また、小樽をイメージする色の有無を聞いたところ、青～青緑系の色の他には雪のイメージでもある「白」と回答する人が多かった。試作品の中で気に入った作品をあげてもらったところ、人気が高かった作品は、いずれも「翡翠」の色に近い青緑色が基調とされていたことに加え、白が使われていたり、ガラス制作技法の一つである「泡」が使われたりしており、台湾の方々好むパターンの一つとして、『青緑色+白色+泡』が浮かび上がってきた。浮き玉の色である“青緑”、雪をイメージする“白”、海をイメージする“泡”、これらは小樽のイメージとも合致するものであり、今後、小樽ガラスのイメージカラー(組み合わせ)のキーワードと十分なり得るのではないかと思われる。

## 2. 旭川商工会議所【『旭川家具』ブランド確立推進事業】

### <今月の事業実施状況>

12月上旬にドイツケルンメッセ見本市に出展する商品10点を発送した。

12月下旬よりケルン市内に店舗があるカンディハウスヨーロッパの協力を得て、発送した作品を展示してもらい1月15日より開催のケルンメッセ国際家具見本市のPRを行った。

### <担当者のコメント>

カンディハウスヨーロッパ(当推進委員会委員長が経営)の協力により、ケルンメッセ見本市の出展作品を事前にPRが出来ることは、見本市に大きく期待もてると思う。

## 3. 弘前商工会議所【津軽うるおい、うるわし事業プロジェクト】

### <今月の事業実施状況>

1. 12月7日(木)11:00~13:00 試作品打合せ
2. 12月12日(火)16:00~22:00 メゾン・エ・オブジェ打合せ
3. 12月19日(火)16:00~21:00 メゾン・エ・オブジェ打合せ
4. 12月20日(水)15:00~18:00 NHK東北版アップワイドニュースtoday取材(1月12日放映)

## 4. 東通村商工会【「飛躍する未来へ!!「ひがしどおり海山喰(か)さまい」創出プロジェクト】

### <今月の事業実施状況>

12月15日(金)第3回JAPANブランド育成支援事業「飛躍する未来へ!!ひがしどおり海山喰(か)さまい創出」プロジェクト実行委員会を開催しました。

案件:(1)ブランドデザインの最終決定について ※別添

(2)海外(中国)での展示・商談会並びに市場調査の報告について

昨年度に続き、経済産業省中小企業庁より採択を受けたJAPANブランド育成支援事業、飛躍する未来

へ!!「海山喰さまい創出プロジェクト」実行委員会(委員長:二本柳雄作商工会長)は11月21~25日の日程により、中国大連市の「フラマホテル」で野牛産大型外海地まきホタテ干し貝柱や実行委員会開発の地酒「祈水」等をPRする展示・商談会及び東通村海珍美食節、市内水産会社等の市場調査を行いました。

現地には、商工会や野牛・尻屋・小田野沢漁協、アドバイザー委員等13名が出向き、試食・展示会には中国政府、高級食材バイヤーやデパート・レストラン、酒類卸売業関係者など約35名を招待し行いました。メニューは野牛産干し貝柱を使った料理8品が出され、非常に好評を受けました。商談では、約2,500万円のオファーがあり、成立に向け今後進んでいきたいと考えております。また、11月23日~12月12日の日程で、同ホテルで試食・展示会と同じく干し貝柱を使った創作料理フェアが行われました。中国ではホタテ・ナマコ・アワビがブームになっており、薬膳料理や政府幹部等への贈物に使用されていることから、今後ますます需要が増えていくことが予想されています。実行委員会が大連で独自の商談会を開くのは昨年引き続き2度目で、今回は販路確立と具体的な商談成立を目指して行ってきました。将来は北京、上海にも販路を開拓していきたいと考えております。今後とも東通ブランドの確立を目指して取組んでいきますので、御支援御協力をお願い致します。



第3回実行委員会(12/15)

(3)国内での展示・商談会並びに市場調査の実施概要について

2月上旬に、ポートピア神戸及びグランビア大阪の二つに絞り国内展示・商談会を行なうことを確認。アドバイザー、事務局が調整を行なう。

12月26～28日の日程で神戸ポートピアホテルにおいて2月の展示・商談会の日程及び料理・会場等の打ち合せを行ない、日時を2月8日(木)で決定。詳細については今後つめていく事とする。



中国・大連での展示商談会

5. 山形商工会議所【山形発「カロッツェリア型ものづくり」のブランド展開】

<今月の事業実施状況>

昨年度に引き続き、フランス・パリで開催されるインテリア・家具国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」2007年1月展への出展が正式に決定した。出展ブースは、同展示会の看板ホール「インテリアシーン」コーナーで、出展面積は前回の1.5倍にあたる6コマ54㎡を確保、「山形工房」のブランド名で出展する。

試作品開発はほぼ完了。仏、英、日の3カ国標記の展示会用パンフレットの制作も順調に進んでおり、いよいよプロジェクトは最後の詰めに入っている。

6. 会津若松商工会議所【BITOWA FROM AIZU】

7. 川口商工会議所【Casting Innovation 新・川口鋳物の創造】

<今月の事業実施状況>

【12月11日】

「販売担当委員、デザイナー、調査機関による打ち合わせ」

展示会の出展目的・ターゲット等の確認とそれを踏まえたイメージ構築。パンフレット等の広報ツールに関する意見交換を行った。

【12月15日】

「販促活動に関する調査／企業との打ち合わせ」

総合雑貨店の商品取扱条件について打ち合わせした。併せて、市場での訴求ポイントや販売戦略等についてアドバイスをいただいた。

【12月20日】

「JAPAN ブランドプロジェクト委員会」

展示会の小間レイアウト(基本レイアウトを決定。細部は次回委員会にて協議)、試作デザインに関するハンドル・摘み部の検証(1アイテムを除き決定)、「コンセプトを考える」をテーマに開催した。



プロジェクト委員会(12/20)

**<担当者のコメント>**

展示会は目的・訴求ポイントを明確にし、これからの事業の取り組みに大いに意味のあるものとした。

総合雑貨店での打ち合わせでは、安定した生産体制に対する要求があり、品質・歩留まり等を考慮した更なる技術の促進は、これからの重点課題となりそうだ。

**8. 富士吉田商工会議所【海外展開ブランド支援事業『プロジェクト Fuji-façonné(フジ・ファソネ)』】**

**<今月の事業実施状況>**

1月末に開催される TISSU PREMIER 展に向けて諸々の手配等、準備を進行。また次期(2008年春夏)向けの商品開発の最終段階に入る。次期展示会に向け、300点弱の新商品の展開を予定している。

また、12月1日発行の月刊展示会情報に、当商工会議所の海外展示会出展に関するレポートが掲載された。

(同誌には JAPAN ブランド事業に関する特集記事が掲載されている。)

**<担当者のコメント>**

本年度2度目の TISSU PREMIER 展出展に向けて準備を進めているが、次回の展示会は当産地が得意とする春夏物向けであり、前回にも増して多くのメーカーにアピール出来るよう商品開発、展示会準備を入念におこなった。

**9. 三条商工会議所【SANJO 発 グローバル・ブランド構築支援プロジェクト】**

**<今月の事業実施状況>**

**1. JAPANブランド事業特別委員会開催**

・開催日時 12月27日(水)11:00~13:00

・参加者 11名

**(1)「アンビエンテ・メッセ・フランクフルト 2007」出展について**

会期:2007年2月9日(金)~13日(火)

・今回出展に向けての最終確認のため小間レイアウト、装飾関係について検討。

・前回同様、刃物を中心としたキッチン関係フロア9.1 A78 に出展。

・昨年の来場者リストをもとに150名ほどにメールでご案内を送付して来場を呼びかける。

・今回も黒を基調としたイメージで統一し、各社ごと桐の展示台に製品を展示し高級感と盗難防止のためアクリルケースを活用した展示とする。今回は参加企業のほとんどが現地にてアテンドすることを確認。

**(2)19年度事業について**

・期間限定ではあるが海外でアンテナショップ参加の情報が有り取り組みについて検討。

・費用的な部分もあるが新年度事業として参加する方向で検討を進める。

**2. 「JAPAN BRAND at 三条・燕・加茂」3会議所担当者による報告会を開催**

・開催報告並びに来場者アンケート結果のほか決算報告。

・反省点として、開催期間が少し長過ぎたことと、開催時期について再検討する必要がある。

・今回の事業については、マスコミにも取り上げられ取り組みに対するPR効果はあったように思われる。

・事業的には継続実施することで効果も期待できることから19年度も3会議所合同で開催することを基本に、今後事業計画を検討することを確認。

10.	<b>燕商工会議所【“enn”ブランド育成支援事業】</b>
11.	<b>加茂商工会議所【桐を中心とした加茂木工ブランドの海外市場販路確立プロジェクト】</b> <b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b> <b>【検討内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12/8 国際家具見本市の反省点等について検討し、来場者の分析を行った。 試作品の改善点について意見交換。</li> <li>・12/15 取扱店、販売ルートについての打ち合わせ 製品の仕様変更と価格の見直しについて検討。</li> </ul> <b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>12/25 (株)日本総研による JAPAN ブランド事業ヒアリング実施。</li> <li>11/28～12/2 JPAN ブランド at 三条・燕・加茂出展(日本橋 NICO プラザ) (12/1 泉田新潟県知事視察)</li> </ul> <b>&lt;担当者のコメント&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京国際家具見本市の結果、取扱についての引き合いが来はじめています。</li> <li>・11月～12月にかけて展示会が続いたが、初めての出展で反省点も多々あり次年度への改善につなげたい。</li> </ul>
12.	<b>岡谷商工会議所【岡谷絹&lt;純絹(あしぎぬ)&gt;製品のブランド化事業】</b> <b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b> <p>12月6日～8日、東京ビッグサイトで開催されたJAPAN CREATION2007A/Wに出展、諸絹による男性用ジャケット、女性用ネックウェアを中心に既存の製品約70点を展示するとともに、ブース内に糸操り器を設置し実演も行った。学生、一般を除き約30社のバイヤーが訪れ、数社と商談中である。</p> <p>12月22日、第2回岡谷絹ブランド推進協議会を開催、JAPAN CREATION2007A/Wの報告と1月開催されるメゾン・エ・オブジェ2007への対応を協議した。</p>
13.	<b>飯田市鼎町商工会【「飯田水引ブランド」世界へのはばたき】</b> <b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b> <p>12月 5日:東京 デザイナー有田昌史氏、渡邊メンバーと水引のデザインコンセプトについての協議</p> <p>12月15日:東京 デザイナー有田氏、コンサルタント和田直子氏、事務局長湯澤、今後の基本的展開方向協議。</p> <p>12月20日:東京 デザイナー有田氏とコンサル和田氏、メンバー4名がミーティング。民間企業4社とビジネス展開戦略について協議。</p> <p>協議結果:2月に、事業成果として、国内において発表展示会を開催し、JAPAN ブランドとしての新たな水引コンセプトの反応調査をすることを決定。次なるステップとする。</p>



#### 14. 福田町商工会

##### 【FUKUDE コード・ルネッサンス MISSION～コーデロイ(ブランド名 solbreveco)の世界への発信】

###### <今月の事業実施状況>

- 12/6-8 ジャパンクリエイション出展  
展示・市場調査・サンプル発送
- 12/9-20 solbreveco インターネットテスト販売実施  
成績は、6件12点。はじめての経験で改善点の手応えもつかめました。急遽実施したためPR不足でもあることから、期間延長も考えましたが、年末でもあることから一応テストを終了した。
- 12/27 正副部長・分科会長会議開催(予定)  
事業実施の反省及び今後の展望について 会長、磯部・村木アドバイザー出席のもと開催



JAPAN CREATION 2007 A/W  
(12/6~8 東京ビッグサイト)

###### <担当者のコメント>

JC出展は出展料が大きな負担となっており、展示は委員による手作りであることから、大手企業のプロの手に掛かった展示に比べれば今ひとつ寂しい感じもしたが、手作りでもここまで出来たのは、福田JAPANブランド委員会の委員はそれぞれの分野でのプロで構成されている、言ってみれば「プロ集団」であるということに改めて実感した。

昨年は solbreveco 発表直後で、マスコミ・視察・関係諸機関等の来場者が多く相当賑やかであった事に比べれば今年は静かではあったが、殆どの来場者が商社、アパレル、貿易商等で、solbreveco を求めてブースに来て頂き、納得のいくプロモーション活動を行うことが出来た。また、JAPAN ブランド委員会開発品に加え、solbreveco 会員の solbreveco 認定製品を出展したことから、各社の協同と良い意味での競争が感じられ、JC出展の目的の一つである産地のモチベーションアップにつながることが出来たと感じた。

#### 15. 一宮商工会議所【JB(ジョイント・尾州)ブランド構築事業】

###### <今月の事業実施状況>

- 12/19(火)第3回JBブランド構築事業実行委員会開催
  - (1)9/18~20第3回パリ展示商談会での開催結果報告  
(入場者108社 247名、サンプル請求715点、見本反請求 6社 30点)
  - (2)商品開発の強化  
環境に優しい加工、日本オリジナルの加工技術のものづくりをこれからも進めていく予定
- 12/22(金)JBブランド出展社オーナー・担当者合同会議
  - (1)9/18~20第3回パリ展示商談会での開催結果報告
  - (2)JBブランドの今後の展開について  
講師:名古屋工業大学大学院 助教授 加藤 雄一郎氏をお招きして講義をしていただきました。
- 12/20(水)~21日(木)  
2月に、パリ・ミラノでの企業訪問のための、2008年春夏 素材開発の進行状況の確認(参画企業11社)及び打合せをする。

＜担当者のコメント＞

2月の企業訪問に向けて、各社素材開発から製作が順調に進行しております。

16. 有松商工会 【創造と進化～有松鳴海絞りブランド～】

17. 高山商工会議所 【「飛騨春慶のある生活提案」によるブランド育成事業(リビング編)】

＜今月の事業実施状況＞

- ・ 12月5日にパリに向けて「プラネット・ムーブル」出品商品を出荷した。名古屋港を予定通り12月15日に出港したことを確認した。  
ここまでの商品開発から出荷までの一連の作業が終了したことで、小さな山をまず越えた感があった。
- ・ その後は、カタログ製作、パリ出張者の最終決定とホテル・飛行機の確保、メゾン・エ・オブジェ主催者側との度重なる連絡、現地販売価格設定、商品開発その他の経費支払、現地会場での搬入から搬出までのスケジュール調整と決定、アンケート用紙作成、接客マニュアル作成、などを実施。
- ・ 1月13日カタログが完成し、パリに向けて出荷した。想像以上の仕上がりであった。
- ・ 1月17日にパリに出張するメンバー全員が高山に集合して説明会を開催した。  
パリの会場にて必要な書類をファイルにして、全員に同じ書類を渡し説明をした。最初にプラネット・ムーブル出展の目的をあらためて全員で確認し、昨年の反省を踏まえてアンケートを基軸とした接客記録の取り方、日本人としてのプライドをもった接客のための「接客マニュアル」については、詳細な説明を実施し「笑顔と挨拶」の徹底を強調した。また、出品企業6社のプライスリストを公開し、離席者がいても全員が商談できる態勢づくりを促した。現地採用の通訳にも共通のルールとマナーを現地で教育することも会期オープン前のスケジュールに加えた。
- ・ 1月22日(月)に名古屋発と成田発に分かれていよいよ出発をします。(出張者合計13人)  
現在ヨーロッパは暴風雨に見舞われ、死者を伴う大きな災害になっているとのニュースが入っているので心配される状況であります。



＜担当者のコメント＞

1月18日に日本創研の陣内様がわざわざ高山までお越しいただきましてヒアリングをしていただきました。その折にここまでの問題点や感想を述べさせていただきました。

2回目の正直ではないのですが、ビジネスとしての成果を上げお世話になった日本商工会議所様に良い報告が出来ることを最大の目的として頑張る所存であります。しかし、会場期間内だけの成果でなく展示会が終了してからのアフターフォローが大切であることも充分認識しております。

## 18. 紀北町商工会【JAPANブランド ザ たべきり】

### <今月の事業実施状況>

#### ■市場調査・海外出展

台湾・台北市、中国山東省・済南市に続く海外市場の第3弾として、中国・上海市での国際展覧会において紀北町商工会ブースを出展。食品流通業界関係者・バイヤー・外食ユーザー・商社の方々を対象に『JAPANブランド ザ たべきり』シリーズの主流商品となる「昭和の食卓」(ひもの)・「レンジ料亭」(加熱調理済ひもの等)などを中心とした24種類を出品。試食・サンプル配布・商品展示・インタビューなどによるマーケティングリサーチを行った。

- 開催期間:平成18年11月30日(木)～12月2日(土)
- 開催場所:中国上海市・上海新国際博覧中心
- 名称:「第14回 FHC CHINA 2006 上海」



第14回 FHC CHINA 2006 上海  
(11/30～12/2 上海新国際博覧中心)

#### ■専門家招聘

上記の出展会場に専門家を招聘し、今後の販売戦略の策定や商品開発を目的に、JAPANブランド商品に対する消費者の生の反応をはじめ他店舗・現地市場等を目視調査するなど各種情報収集を行ったほか、貿易にかかるアドバイス等をいただいた。

- 平成18年11月28日(火)～12月3日(日) 伊藤力行氏(マーケティング)
- 平成18年11月29日(水)～12月3日(日) 山口和紀氏(貿易)

### <担当者のコメント>

前回の経験を活かして(FHC上海2004に出展)紀北町商工会として単独出展。本展覧会は、今回で第14回目を迎え、各種食品と飲料を中心とした国際展覧会で、約17,000人の業界関係者が来場する。まさに北京オリンピック・上海万博開催に向け、成長・変革・発展し続ける中国市場の中心である上海での出展ということで、国際的な対応できるよう各種マーケティングアイテムを準備したほか、貿易のアドバイザー・通訳など貿易実務のエキスパートを配置して臨んだ。

世界各国から特産物が集まった会場で、前回同様、行列ができる程の人気ブースとなり五感で感じる市場調査ができた。

## 19. 輪島商工会議所【「出会い」創造プロジェクト—輪島から感動を伝えたい—】

## 20. 能登町商工会【『能登の醸し』ブランド発信事業】

### <今月の事業実施状況>

- 来年3月のNY展示会出展に向けた輸出の準備

### <担当者のコメント>

- 来年3月のNY展示会出展に向けた輸出の準備
  - ・関連施設のFDA登録や米国代理人の手配。
  - ・輸出に係る栄養情報シートの整備。
  - ・集荷・輸出スケジュールの調整。
  - ・海外用パンフ、ラベル、レシピの準備。等
- 商談会開催に向けた意向調査の実施。

●普及・PRの実施

・能登町広報発刊等による取材等

●マップ作成のための企画立案

・「いしり」の生産者、加工業者、宿泊業者等の情報に料理レシピやマップをプラスした情報誌の作成。

・「いしり」料理をメニューに取り入れる飲食店が増加。本物の「いしり」料理、「いしり」加工品を目的地に当地に訪れる観光客の利便性をアップさせ満足度を高め、リピート客の取り込みを図る。

米国ではテロ、BSE、鶏インフルエンザとの問題で食品の輸入規制が想像以上に厳しいことを実感している。日本流の「何とかなる」「大目に見てくれるだろう」は通用しないようだ。特に今回の場合は石川県ブースに出展ということで個々の通関書類等の不備が全体に影響を及ぼすため、妥協は一切許されない状況である。

21. 山中商工会 【YAMANAKA ブランドの確立】

＜今月の事業実施状況＞

11月30日 2007年1月メゾン&オブジェ出展ブース決定(Hall7 D5&E6)

12月12日 内閣府 政府広報番組「ニッポン NAVI 誕生 JAPAN ブランド(仮題)」番組取材  
[http://www.gov-online.go.jp/publicity/tv/navi/navi\\_20070117.html](http://www.gov-online.go.jp/publicity/tv/navi/navi_20070117.html)

12月13日 メゾン&オブジェ出展製品の発送(5カートン 274点)

12月15日 メゾン&オブジェ展示備品制作手配(カタログ印刷、POPスタンド制作等)

12月の NUSSHA 製品掲載誌

- ・地域ブランドの戦略デザイン(2006年12月発売 ピエブックス社)
- ・花時間1月号(2006年12月1日発売 株角川書店)
- ・料理通信1月号(月間ランティエ 2007年1月号別冊 料理通信社)



政府広報 TV「ニッポン Navi」  
撮影風景(12/12)

＜担当者のコメント＞

2007年春の欧州見本市出展製品サンプルをローマの新規ディストリビュータ宛に12月13日に発送。イタリアは郵便事情が悪く前回、前々回とも EMS 便使用の際は配達まで1ヶ月から2ヶ月の遅配となったため、今回は民間の国際宅急便を使用、年内に到着予定。カタログや展示備品については、メゾン&オブジェへのアテンド要員が直接持込予定とした。1月のメゾン&オブジェではディストリビュータの変更に伴い出展ホールが変更、今回より新設されたホール7の now! 会場となった。メゾン&オブジェの会場構成からも、これまでのホール6に比して注目度の高い展示会場であり成果が期待される。

22. 鯖江商工会議所 【めがねのメッカ福井県鯖江市「THE291(フクイ)」のブランド展開】

23. 京都商工会議所 【KYOTO PREMIUM】

24.	<p><b>京都府商工会連合会【丹後テキスタイル】</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>12/7 コーディネーターの現地での作業をもとに、事務局との打ち合わせを実施した。</p> <p>12/8 第8回ワーキング委員会を開催。展示会場をホテルから展示会や研修会の専用施設に変更することを決定した。新たな会場はサブコープ社のエドワード7世研修センターとする。オペラ座の隣なので、ホテルからも近く、環境も良いとのことであった。これに伴い開催時間や旅程の一部変更も決定。会場レイアウトを早速空間デザイナーに作成してもらい、それをもとに展示品や装飾品の準備を行うこととなった。また、招待状も枚数を1,000部に増やして印刷し、次回ワーキングの際に折込等の作業を行うこととなった。 (この間に、コーディネーターが渡仏し、会場の賃貸契約や開催準備を行った。)</p> <p>12/25 第9回ワーキング委員会を開催。出展品・送付品・リース品や役割分担を決定した。出展品のセールスコンディションの作成業務にも着手。また、招待状の作成業務を行った。来年1月初旬にコーディネーターが再度渡仏し今回の決定に基づき下準備を行い、それをもとに1月17日に出発前の最終確認のためのワーキング委員会を開催することを決定した。</p> <p>＜担当者のコメント＞</p> <p>コーディネーターの迅速な対応で、会場の問題を滞りなく解決した。新会場はイベント専用のため使い勝手がよく、より良い事業(展示会)が期待できる。</p>
25.	<p><b>一宮町商工会【～Kosai Aroma～香りの文化を演出し「あわじ島の香司」ブランドの確立】</b></p>
26.	<p><b>御坊商工会議所【木の国「置き和室」国際ブランド化プロジェクト】</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>12月度は、ロス・パリ海外展示がスタート。海外展示を確実に実施する。展示と同時に、海外での製品の市場性を確認するための来場者アンケートを実施、今後の海外でのマーケティング展開へ向けた情報収集を開始する。パリ展示(ジェトロセンター)準備にあたっては、事業推進委員会塩路委員が監理視察のため訪欧。</p> <p>マーケティング展開として、平成19年に予定されている家具ルートを中心とした国内展示会やテスト導入の実施準備を始める。</p> <p>12月15日第4回専門委員会実施。海外展示会実施進行状況・現地状況など報告。今後の国内展示会準備・テスト導入、予算執行状況など確認。</p> <p>＜担当者のコメント＞</p> <p>当面は海外展示を確実にこなすとともに、これを契機とした海外マーケティング展開の拠点を構築することが重要となる。展示会実施だけに終わらない継続的な対策の計画・実施が課題となる。</p> <p>次年度へ向けた本格的な製造・販売組織づくりに向けた準備と具体的計画も重要になっている。組織化にあたり、できる限り地元木材関連企業の積極的な参画を求めている。</p>
27.	<p><b>松江商工会議所【NEW 松江菓子海外市場開拓プロジェクト】</b></p>
28.	<p><b>府中商工会議所</b> <b>【FUTON-STYLEによる府中家具のブランド構築事業(ベッドルームのトータル化事業)】</b></p>

29.	<p><b>熊野町商工会【「FU-DE」世界的ブームの創出。みんなで描こう！世界のスマイルフェース】</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>12月 3日 国内パンフレット完成  4日 JB 新商品発表  12月16日 第11回実施委員会  ・展示会渡航に関する決定の件  ・商品価格(小売・卸売)決定の件  12月25日 第12回実施委員会  ・予算遂行状況及び検討の件</p> <p>熊野町商工会URL: <a href="http://www.shokuma.or.jp">http://www.shokuma.or.jp</a></p>
30.	<p><b>高松商工会議所【「6jo」(ロクジョウ)ブランド確立事業】</b></p>
31.	<p><b>東かがわ市商工会【市場性を重視した試作品から商品への展開を図り、ブランドの確立と、メーカーと市場を繋ぐシステムの構築】</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>◆第4回プロジェクト委員会(12/7)</p> <p>(1)デザインコンペ出品作品審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全出品作品の説明及び試作品候補6点の説明をOZONEの杉原・福永氏より行われた。また、審査の結果と今後のスケジュールについて審査委員の山本氏(株)小田急百貨店)と箕輪氏(STEILRC.K.M)より報告がそれぞれあった。</li> <li>・OZONE杉原氏より、出品作品だけでは品数が足りなく、出品デザイナーに依頼をした24点の提出についての説明があった。</li> </ul> <p>(2)採用デザインのメーカー配付等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用デザインにつき各メーカーから選定発表していただき配付調整を行い全体で13点の試作品制作にあたる事を決定した。</li> </ul>
32.	<p><b>福岡商工会議所【21世紀博多織 JAPAN ブランド】</b></p> <p>＜今月の事業実施状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12/19 推進委員会・幹事会開催。幹事会では、海外市場開拓について現地アドバイザーを、福岡県フランクフルト事務所と伊藤忠のミラノ支店に同行・紹介を依頼することとなった。渡欧期間は 2/4～2/11 の予定。</li> <li>・ 渡欧に先立って 1/31 までパリで開催のメゾン・エ・オブジェの福岡県のブースに博多織の作品も出展することとなった。</li> <li>・ 1月の国内発表会に向け、紫野工房 Shino ではデザイナーとのコラボでドレス等を制作、HAKATA JAPAN ではバッグ、靴の試作品を制作。</li> <li>・ 1/24(水)～1/28(日)福岡市内で展示発表会とファッションショーを開催するための準備。</li> </ul>

33.	<b>大川商工会議所【大川家具ブランド確立(新ブランド開発)事業】</b>
<p>＜今月の事業実施状況＞</p> <p>12月1日 パリ展示会展示レイアウトの確認と出展品の写真撮影を行う。～4日</p> <p>12月4日 パリ展示会への輸送のための作業を行う。6日、博多港でコンテナ積み込み。9日、博多港出航。 (1月10日フランス、ル・アーブル港へ入港予定。)</p> <p>12月19日 ワーキング会議での事業経過報告を行う。また、以下の内容の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会案内の招待状を作成することとし、その原案を協議。</li> <li>・展示会会場で配布するリーフレットの原案を協議。</li> <li>・リーフレットと併せて、CDを作成することとし、その原案を協議。</li> <li>・展示会参加者とそのスケジュールの確認。</li> <li>・その他 PR の方法を協議。</li> </ul>	
<p>＜担当者のコメント＞</p> <p>パリ展示会に向けた商品の輸出関連続きを完了した。</p> <p>また、現地での準備や事前 PR について、現地のコーディネーターとの協議を行い、どのような方法が効果的であるかの検討を行う。</p> <p>これに関しては、プレス発表をするにしても具体的なイメージとして、写真データが重要であり、もっと早い時期での作成が必要であった。</p>	
34.	<b>広川町商工会【古くて新しい！新風久留米絣ブランド化事業】</b>
35.	<b>苓北町商工会【CERAMICA AMAKUSA 天草陶石・陶磁器ブランドプロデュース事業】</b>
36.	<b>大分県商工会連合会【Harb&amp;Harvest Oita プロジェクト】</b>
37.	<b>鹿児島県商工会連合会【薩摩が誇る美と技のコラボレーション】</b>

# 平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 ブランド確立支援(1年目)案件:2006年12月分

番号	実施団体名 / 今月の事業実施状況 / 担当者のコメント
1.	<b>札幌商工会議所【スイーツの街・札幌 ブランド発信事業】</b>
2.	<b>盛岡商工会議所【南部鉄器フォー・ユーロ・ブランディング事業】</b> <b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b> 11月26日～12月2日の日程で、フィンランドから招聘したタウノ・タルナ氏(フィンランド・メトス社のデザイナー・プロダクトマネージャー)に、来盛時に持参したデザイン案の修正を依頼した。 タウナ氏が盛岡での視察・意見交換等を通して得たアイデアを盛り込んで、デザインの修正を行いたいとの申し出を受けたもので、帰国後にデザインの修正作業を行い、提示を受けることとなった。 1月早々にタルナ氏のデザインが到着したい、試作企業の調整、技術的な検討、モデリング等を行い、フィンランドデザインによる南部鉄器の新製品の試作に取り組む予定である。
3.	<b>菟田野町商工会【UTANO ブランドの創出～毛皮・鹿革を活用した地域ブランド構築プロジェクト】</b> <b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b> 化粧・エステサロン部会 ネーミング・ロゴ案の検討 販売促進ツール(パンフレット、エステ使用説明冊子、DVD 製作、ホームページ作成など) モニター結果に基づく、試作品改良 検査機関による素材機能性評価の結果 東京インターナショナルギフトショー出展参加について等々協議する。 この部会に先立ち、12月14日神戸六甲アイランドのホテル内にエステルームを構える、専門化委員の指導によるモニター数名のエステ施術現場の見学をさせて戴く。 施術後、鹿革を使っのエステ効果について、体験者を交えて意見交換する。 <b>&lt;担当者のコメント&gt;</b> 19年2月の東京インターナショナルギフトショー出展に向け、会場準備、広報媒体の製作(パンフ2種類、エステガイド、DVD 製作、ホームページ作成など)にタイトなスケジュールのなか、企画立案と修正を繰り返しながらワーキング部会での委員の意見調整を図り、承認を戴きながら一つ一つステップをこなしている。 この広報媒体は今回の事業コンセプトの一貫性を持たせており、来年度以降に向けての販路拡大の大きな礎となる事に期待を寄せている。
4.	<b>泉佐野商工会議所【泉州こだわりタオルブランドの構築】</b> <b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b> 泉州こだわりタオル推進 海外市場調査としてアメリカ市場の調査を森専門家委員に委託し実施することとして、調査内容について調整を行った。 具体的には、1月18日より26日の間、アメリカ国内において、流通調査、市場調査、消費動向、見本市における製品調査などを実施することとし、1月13日に委員会で打合せなど行うこととしている。 また、地元泉佐野市での「泉州こだわりタオル展」の開催のため、会場となる泉佐野技術センターにおいて設営内容他について大阪タオル工業組合事務局と㈱大阪繊維リソースセンターにより打合せを行った。

泉州こだわりタオルPR

11月に作成の泉州タオルのポスターを、新たに地元関連企業などに配布した。

**<担当者のコメント>**

1月10日、中小企業長官との懇談会の機会が大阪で有り、当所 重里常議員(大阪タオル工業組合 理事長)よりJAPANブランド事業の取組について報告をすることとなっている。

また、大阪府他主催の「おおさか地域活性化フォーラム」に重里豊彦大阪タオル工業組合理事長がパネラーとして参加し、地域ブランドとしてJAPANブランドの取組報告を行うこととなっている。

**5. 神戸商工会議所【神戸ブランド Meets 上海】**

**<今月の事業実施状況>**

打ち合わせ会

日 時:12月26日(火)13:00~14:00

場 所:神戸市役所8階会議室

出席者:(ファッションプロデューサー:高田恵太郎、株式会社アパレルウェブ 木伏裕一、神戸商工会議所:関口幸明、藤田敦大、神戸市:酒井竜一郎、寺前由美子)

内 容:(1)神戸ブランド Meets 上海プロジェクト参加企業がほぼ確定したので、ショー・ブース出展における詳細について、参加企業向け説明会の実施時期を検討。

(2)モニタリング調査について、委託先のアパレルウェブ社から説明があった。モニタリング調査はグループインタビュー、インターネット調査、競合店舗リサーチの3つから構成。グループインタビューでは、「神戸コレクション in 上海」でショーまたはブースに出展した際に実際に使用した商材を上海の若い女性に見せて質問し、その内容について議論してもらう。インターネット調査では、モニタリング調査で使用した質問を利用して、より多くの中国人女性の意見を回収する。競合店舗リサーチでは、中国市場に進出した際にライバルとなる同業店舗の調査を実施。ブランドの人気や、販売員の接客態度、ブランドの見せ方といった観点から調査を行う。

(3)上海においての知名度が低い「神戸」をアピールするため、中国のファッション雑誌「Reili(レイリー)」にて神戸特集を組み、神戸の街のPRとともに神戸ブランド(株)ワールド、(株)ジャヴァホールディングス等のPRも行った。

**<担当者のコメント>**

ショー舞台となる「神戸コレクション in 上海」の本番(2月10日)が迫ってきており、神戸ブランドにおいても、出展する商材の製作や撮影などで忙しくなってきた。

**6. 今治商工会議所【Imabari タオルプロデュース ~「新 Towel ライフ」の演出~】**

**<今月の事業実施状況>**

開催日……………平成18年12月12日13:00

場 所……………四国タオル工業組合1階応接室

出席者……………インタープランニング(有) 富山達章  
四国タオル工業組合 村上好胤、木村忠司  
今治市 浜田課長補佐、白石義広  
今治商工会議所 清水副部長、山本係長


議事・要件…ロゴマークプレス発表打合せ

開催日 ……平成18年12月26日16:00  
場 所 ……四国タオル工業組合1階応接室  
出席者 ……四国タオル工業組合 藤高豊文、村上好胤、木村忠司  
今治市 浜田課長補佐  
今治商工会議所 清水副部長、山本係長  
議事・要件 ……ロゴマークプレス発表、マーク(ネーム)等について打合せ

開催日 ……平成18年12月28日11:00  
場 所 ……四国タオル工業組合1階応接室  
出席者 ……四国タオル工業組合 藤高豊文、木村忠司  
今治市 岸田次長、浜田課長補佐  
今治商工会議所 清水副部長、山本係長  
議事・要件 ……新商品のギフトショー出展について

7. 中芸地区商工会 【「魚梁瀬(やなせ)杉」再生プロジェクト】

# 平成18年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告 戦略策定支援(0年目)案件:2006年12月分

番号	実施団体名 / 今月の事業実施状況 / 担当者のコメント
1.	<p><b>能代商工会議所 (木材製品)</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b>            今月(12月)の事業実施状況            1. 12月21日(木)午後1時30分~、於:プラザ都、「第6回秋田杉ブランド推進委員会ワーキンググループ打合せ」を開催、又、必要に応じて7回目も開催する。事業報告書のまとめについて協議する。            来月以降の事業実施予定            1. 調査事業の一環として「秋田杉のイメージ調査・アンケート調査」を実施、委員5名で聞き取り調査を実施。            その調査結果をベースにした「秋田杉について」の動向並びに分析について協議する。            2. 2月5日(月)午後2時~、最終の委員会(第4回)を開催予定。ゲストを招へいし、勉強会を実施。            ゲストスピーカーには、杉を活用したプロダクトデザインの研究者で、日本全国スギダラケ倶楽部で活躍中の秋田美術工芸短期大学の産業デザイン学科の菅原香織先生を招へいし、秋田スギのブランド化とデザインについての講話を聴講する。また、各事業の進捗状況を報告・協議し、今後の事業についても意見交換を実施する予定。(第4回全体会議)。</p> <p><b>&lt;担当者のコメント&gt;</b>            直面した課題とその対応状況:3点について記入            ・ブランド化の確立の為に、何か形に残るものを想定する必要があり検討している。            ・秋田杉のイメージ調査を実施、その報告書を作成中。            ・秋田杉の木造住宅と、その構造等の普及が必要で、また、公共住宅の木造化も検討する。</p>
2.	<p><b>宮城県商工会連合会 (木地玩具、漆器の融合)</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b>            12月21日(木)第2回戦略策定委員会で本事業のコンセプトを検討、出席委員より合意を得た。            (1) 桂委員長より、資料「Japan Brand Concept」に基づき説明。            【提案されたコンセプトのポイント】            前回提出したものは「製作コンセプト」が中心であったが、今回は“LOHAS”の概念を盛り込み総合的な提言。            夫々の特質あるパーツをジョイントすることによる独自性            “プラスの概念”により他にはないものを表現する。            「遊びの感覚」を取り入れいろいろなバリエーションを提供。            「積み木」をイメージした今までにないものの表現。            当初は見本市をターゲットとした「展示映え」する商品中心の展開 ブランド訴求            オーソドックスな商品展開            「とんがっている」感覚を刺激する要素を持たせることにより、かなりの特徴を出して訴求。            ターゲットとして、LOHASの生活に賛同する層を目論む。</p> <div style="text-align: right;">  </div>

	<p><b>&lt;担当者のコメント&gt;</b>  出席した工人より「地域の伝統産業が後継者難等の問題で衰退している。この事業を“最後のチャンス”と捉えて新しいモノづくりに取り組むことが大事ではないか」との意見をいただいた。  こうした意見が工人から発せられるということは、僅かではあるが本事業を実施した成果ではないだろうか。</p>
3.	<p><b>梁川町商工会（ニット製品）</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b>  ・12月25日(月)  専門家招聘会議  出席者 会長・中尾・関根・三品専門委員  ロシア人デザイナー「R・ナルソヤン」招聘について  招聘月日 平成19年2月22日～27日  招聘に係る予算 招聘内容を具体的な打ち合わせ</p>
4.	<p><b>足利商工会議所（雲井織）</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b>  12月10日～11日、足利銘織創造研究会視察研修会を実施。足利市は繊維の街として古い歴史をもつ。「繊維のまち足利」の復活とそのため地域ブランドプロジェクトの事業化を目指している。基本コンセプト(1)伝統と歴史・文化・風土と人・産業の共生、(2)地域に必要な適格技術を身につけるための人材育成、(3)若者の起業家と企業間連携の創出等があり現在そのためのリーディングプロジェクトの企画立案をすすめている。プロジェクトをすすめる上で他地域の先進的な事例を観察したい体験することは、今後足利が取り組むべき各々のプロジェクトに向けた様々な視点が得られるとともに課題の発見・解決にもつながる。今回視察先とした萩市は、伝統・歴史・文化、人材育成、人・まち・産業の連携、さらに情報のツールの開発等、地域資源を活かした取り組みが行われるなど、地域ブランド先進地事例として注目されている。また、足利のコンセプトとも合致しており、今後「繊維のまち足利」の地域ブランド化に向けた多くの示唆を得られることが期待される。</p> <p>12月13日、「足利ブランドを高めるためには足利でいま何をすべきか、どう思われているか」と題して(株)ブランド総合研究所の田中章雄氏を講師に迎えての約2時間の基調講演が行われた。内容は(1)地域ブランド(2)足利はどうみられているのか(3)足利の強みと弱み(4)足利JAPANブランドの取り組みについて</p> <p>12月18日、ブランドコンセプト決まる。コンセプトは「足利幕府」。内容は足利のまち全体を「足利幕府」とし、足利銘織創造研究会の取り組みを足利幕府の政ととらえる。リーディングプロジェクトの作成について前回の会議からの課題で各自のプロジェクト案を発表した。</p> <p>[メンバーの主な意見]  ・足利意匠の象徴「雲井織」復刻(婆娑羅が織り成す布模様)  ・足利源氏イケメンコンテスト(足利尊氏はイケメン将軍だった)  ・相田みつをと足利(相田みつを足利ゆかり散歩)等</p> <p>全国の地方新聞社が結集し総発行部数1880万部を超える新聞社のネットワークが運営するメディアから、足利の雲井織が注目され、全国へPR(無料)したいと会議所へ来所したことを報告。PRをするためには試作品がなければならぬため研究してみても事務局から提案した。</p> <p>次に田中氏から消費者調査(案)に関する説明が行われた。消費者の視点からリーディングプロジェクトを推進するために足利ブランド確立にむけた計画を実施するための基礎資</p>

料とするために行うこととなった。鈴木会長から来年度の JAPAN ブランド事業に対する会議所の体制については、従来どおりではなく、専属のスタッフを配置しなければならない。また、メンバーの組織の見直しをしてワークショップをつくる必要があると述べた。

また、先週栃木県知事が足利へ来足した時に、知事の挨拶の中で新県庁の知事室の壁紙を雲井織にしたと説明したとのこと。

12月25日、足利工業高等学校に保管されている「雲井織」の素材から織り方などを調査するため視察見学会を実施。

#### <担当者のコメント>

ブランドコンセプトが決定した関係で次年度への取り組みをどのように進めるのかが課題であろう。

### 5. 鹿沼商工会議所（建具）

#### <今月の事業実施状況>

12月19日 フィンランドにおける海外市場調査の報告会を実施。

#### <担当者のコメント>

海外市場調査の報告を受けた。フィンランドは森と湖の国と言われるように、ホテルのカードキーが木製であったり、木製の土産品が豊富であったりと木製品には馴染み深い場所である。北欧でも寿司ブームということもあり、手巻き寿司セットが好感触であったとのこと。また、デパートではすでに中国製の木工製品が販売されているとのことで、これからの販路開拓の戦略に繋げていきたい。

### 6. 糸魚川商工会議所（ヒスイ）

### 7. 甲府商工会議所（宝飾品）

#### <今月の事業実施状況>

委員会

#### 1. 第5回戦略審議セッション会議

日 時 平成18年12月22日(金) 午後3時～

場 所 甲府商工会議所401会議室

内 容 1) 具体的支援策について・・・人材育成

2) 商標使用に関するルールについて

3) コレクションとする条件、選定方法について

4) 産地ブランド「Koo-fu」の基準(素材品質、製品、デザイン)について

\* 前回報告出来なかった、具体的な支援の人材育成の部分と商標使用ルール、コレクション条件、選定ルールについて報告し、委員各位より活発な意見を頂いた。

#### 2. 第9回戦略策定セッション会議

日 時 平成18年12月12日(火) 午後1時30分～

場 所 甲府商工会議所 4F 応接室

内 容 1) 具体的支援策について・・・人材育成

2) 商標使用に関するルールについて

3) コレクションとする条件、選定方法について

4) 産地ブランド「Koo-fu」の基準(素材品質、製品、デザイン)について

\* 上記内容を検討し、第5回審議セッション会議へ提案することになった。

**<担当者のコメント>**

いよいよ、最終段階に入り次年度の具体的な事業の取組、実施にあたっての取り決め等の検討に入る。

**8. 静岡商工会議所（家具）**

**<今月の事業実施状況>**

海外市場としてターゲットにしている中国に向けての市場調査を下記の通り実施した。

【調査名】 中国市場における受容性把握のための調査

【調査方法】 Webを利用したアンケート調査

【目的】 静岡家具ブランドとして開発予定の『木工技術を使った灯りの生活具』および日本の家具・インテリア製品について、今後、中国市場をターゲットに販路開拓をしていくための情報を得ることにより、静岡家具ブランド育成・確立に向けて策定するブランド戦略アクションプランの貴重な資料とする。

【対象地区】 中国 上海市

【対象者】 20歳以上 500サンプル

【設問数】 31問

【内容】 \*家具・インテリアに関する習慣、ニーズ、所有スタイル、購入チャネル、購入実態、位置づけ等

\*日本風家具のイメージ、認知度、各国の家具のイメージ、家具の欲求順位等

\*日本の家具のコンセプト評価、灯りや光、照明器具への興味について等

【実施日】 平成18年12月16日～23日

現地踏査(中国・上海市)については、平成19年1月6日～8日に実施。

調査実施後、集計・分析を行い、平成19年1月中に調査報告書を作成する。

第4回「静岡家具ブランド戦略策定委員会」は平成19年2月1日(木)に開催予定。

**<担当者のコメント>**

・市場調査実施後、調査結果の分析を行い、ブランド戦略アクションプランを策定する。限られた事業期間のなか、平成19年2月末までのきめ細やかなスケジュール管理が必要になってくる。

**9. 豊橋商工会議所（佃煮）**

**<今月の事業実施状況>**

三河佃煮工業協同組合加盟企業への個別ヒアリングを実施

ブランド構築の方向性を詰めている段階であり、そのベースとなる「三河佃煮の基準づくり」の一環として、加盟各社の現状、今後に向けての考え方等を詳細に把握すべく個別調査(ヒアリング)を実施した。

(実施はH18年12月に2日、H19年1月に2日)

実施状況

12月7日(木)1社

12月12日(火)3社

**<担当者のコメント>**

4社のヒアリングを実施することにより、三河佃煮の基準に関するイメージがかなり明確になってきた。さらにヒアリングを行うことにより、基準が明確になることが期待される。

	<p>今後の事業予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1月10日(水)加盟企業への個別ヒアリング</li> <li>1月16日(火)地元の関連分野における専門家との会議</li> <li>1月17日(水)加盟企業への個別ヒアリング</li> <li>1月26日(金)三河佃煮ブランディング戦略策定委員会 第4回全体会議</li> </ul>
10.	<p><b>瀬戸商工会議所 (窯業)</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b></p> <p>12月4日に、(株)ブランド総合研究所の田中章雄氏と清水一徳氏を専門家として招聘し、第10回作業部会を開催した。ここでは、オートクチュールプロジェクト、お茶プロジェクト、瀬戸基準プロジェクトの3つのリーディングプロジェクトの商品開発にあたっての消費者ニーズ調査をするための具体的な『商品名』、『キャッチコピー』、『商品説明文』、『画像』について発表を行い、意見交換することにより、加筆修正を行った。</p> <p><b>&lt;担当者のコメント&gt;</b></p> <p>各リーディングプロジェクトのシンボルとなる商品については、徐々にではあるが固まりつつある。今後は、調査結果の動向をみながら、次のステップに進むための事業計画や事業予算の想定を行っていきたい。</p> <p>以前に JETRO 総務部 広報課の取材を受けていたが、「世界は今 - JETRO Global Eye」が放映された。</p> <p>(内容)第2コーナー(特集)ジャパブランド・プレミアム戦略 ~地域ものづくり復活のために~ 近年、苦境に立たされる地域のものづくり。その打開策として活発化する「地域ブランド」を成功に導くには - 。ブランド総合研究所 田中章雄代表がアドバイザーとなった2つの産地、福井県鯖江市のメガネフレーム、愛知県瀬戸市の陶磁器の取り組みから「地域ブランド」の戦略策定のあり方を探る。</p> <p>放送チャンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日経 CNBC 【CS 放送 SKY PerfectTV(251ch)】 土曜日 22:30~23:00 日曜日 9:00~9:30(再放送) 【UHF(14ch 他)】</li> <li>・東京 MX テレビ 日曜日 8:30~9:00 21:30~22:00(再放送)</li> </ul> <p>インターネット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェトロインターネット放送局 <a href="http://www.jetro.go.jp/tvinternet/">http://www.jetro.go.jp/tvinternet/</a>(放送期間:12月18日~1月14日)</li> <li>・ブロードバンド グー <a href="http://bb.goo.ne.jp/news/">http://bb.goo.ne.jp/news/</a>(放送期間:12月21日~12月27日)</li> <li>・YAHOO! 動画 <a href="http://streaming.yahoo.co.jp/ct/business/">http://streaming.yahoo.co.jp/ct/business/</a>(放送期間:12月28日~2007年3月31日)</li> </ul>
11.	<p><b>蒲郡商工会議所 (繊維製品)</b></p>
12.	<p><b>白川村商工会 (薬草・山野草)</b></p>

13.	<p><b>高岡商工会議所（銅器・漆器）</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トータルプロデューサーとの事務打合せ 12月12日(火) 場所:富山大学芸術文化学部 トータルプロデューサーである富山大学芸術文化学部の前田学部長と、国内講師及び海外専門家によるセミナー開催について協議した。</li> <li>・セミナー 12月19日(火) 場所:高岡商工ビル (参加者数 23名) テーマ 「伝統産業を活かす企業経営の戦略」 講師 松原 博 氏(株)川島織物セルコン 自動車事業部デザイン統括 内容 (1)独自の構想(を基に)、(2)現地、現物(を大切に)、(3)素材と織機(の改良、充実) (4)細部の緻密さ、(5)職人、技術の継承 を基盤に、織物事業を展開してきた。 自動車事業部では、(1)オンリーワン魅力商品(技術)の追求、(2)ビジネスドメインの 変革(グローバル化)を基盤に事業を進めて来て、今後に向けては、同質化から差 別化へ(コスト競争からの脱皮)・伝統技術はエッセンス(技術開発の)・新たなる マーケットを作り出すセンスと挑戦・needs より seeds を基本戦略に置いている。 「ジャパンブランドではなく、川島セルコン・ブランドへの挑戦」(独自性の追及)を目 指しており、それらの企業のブランドが集まり、ジャパンブランドになると考える。と 講演した。</li> <li>・トータルプロデューサーとの事務打合せ 12月21日(木) 場所:富山大学芸術文化学部 トータルプロデューサーである富山大学芸術文化学部の前田学部長と、海外専門家によるセ ミナー開催及び国内・海外市場調査について協議した。</li> </ul> <p><b>&lt;担当者のコメント&gt;</b> セミナー講師の松原氏からは、伝統的な織物産業を基盤にして、最先端の自動車産業への素材 提供を行う上での事業推進等で参考になることが多かった。</p>
14.	<p><b>大野商工会議所 / 勝山商工会議所（醗酵食品）</b></p>
15.	<p><b>鳥取県商工会連合会（インテリア）</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b> 12月22日(金) 「第4回参画事業者会議」「第2回戦略策定委員会」開催 INABAブランド参画企業の特性、商品構成、販売戦略について協議。</p>
16.	<p><b>新市商工会（インテリア）</b></p>
17.	<p><b>三加茂町商工会（木製品）</b></p>
18.	<p><b>五十崎町商工会（和紙）</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b> 第7回戦略策定委員会(12月20日) 協議:(1)地域内匠について ・地域内の職人“JaGeNa”の拾い出し 家が一軒建つだけの職人がそろっていることがわかり、あらためて五十崎が“職人 の町”であることを実感した。</p>

(2)商品コンセプトについて

・“JaGeNaブランド”～「和」の心をJaGeNaで映したい～

・ここでいう「和」とは、宮沢賢治「銀河鉄道の夜」に結晶されている心(「風姿花伝」「鳥獣戯画」に見られる、“自らを離れた位置から省察しながら見つめ、さらに高みへ行こうとする潔さをまとった立ち居)のあり方

・「素材」「商品(企画)」「流通」

「素材」としての「和」とは何か意見を出し合い、さまざまな「和」の捉え方が浮かび上がった。

「商品(企画)」はいかにデザイン力・アイデアを駆使して付加価値をつけるかが重要であることを再認識した。

「流通」は、まずデパートの売り場に置いて売れるかどうかをイメージすることから、具体的な検討も行う。また、商品は原材料から始めて、全て地域で完成させたいが、商業的には難しいと思われる。



(3)ターゲットについて

・フランス、スイスの親日家 ほか

・東京の富裕層 など

(4)ブランドコンセプトについて

・「心に花があるから星は美しいのです」～ JaGeNa五十崎和紙～

(5)今後のタイムスケジュールについて

・12月23日:会社設立準備委員会(会社は屋台村方式)

・コンペを開催 和紙サミット

(6)その他

・インテリアトレンドショー JAPANTEX研修報告(成田委員 11月24、25日)

<担当者のコメント>

今年度のまとめを行い、さらに次年度事業の戦略を考えて行った。

流通・企画機能として会社を設立し、継続した事業を行う準備も整いつつある。

19. 香美市商工会 (刃物、農機具)

<今月の事業実施状況>

JAPANブランド検討委員会でヨーロッパにおける刃物の現状調査報告を受ける。

・滋賀県立大学 印南先生に依頼してあったヨーロッパにおける刃物の現状調査について委員全委員とコーディネーターのtckw永田氏が報告を受ける。特にイタリアにおける刃物産地の報告は、マーケット・コンセプト・価格まで入り込んだ細かいものであった

・tckwの永田氏からブランドイメージ浸透調査について報告を受ける。

インターネットでの検索による「土佐打刃物」の浸透度をデータ化して報告を受ける

<担当者のコメント>

・今まで不鮮明だったヨーロッパの刃物に関する情報を入手することが有益であった。

20.	<p><b>大木町商工会（花莫蔭）</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b></p> <p>(1) JAPANブランド専門部会(流通、市場開拓)を12月22日(金)開催し、事業参加企業4社(山万・イケヒコ・コ・ポレ・シヨン・添島勲商店・石橋加工場)の展示場・織機による製品加工等の現場視察を行い、業界の現状を把握し、今後の事業活動の方向づけに役立つものである。(AM10:30 ~ PM2:30)</p> <p>(2) JAPANブランド専門部会合同会議(流通、市場開拓・生産、デザイン開発)を12月22日(金)PM3:00から開催し、午前中に展示場等の現場視察をし、実情把握を行い、今後の事業目標達成に役立ち、有意義な視察であった。清須美・市川先生提案の提案書(案)を清須美先生より説明をし、各委員提案書(案)の協議をし、活発な意見が出され提案書(案)は了承され、次回の会議を1月17日(水)PM1:30と決定し、会議は終了した。</p>
21.	<p><b>小石原村商工会（陶器）</b></p>
22.	<p><b>城島町商工会（瓦インテリア、河川用環境ブロック）</b></p>
23.	<p><b>那覇商工会議所 / 国頭村商工会（三線）</b></p> <p><b>&lt;今月の事業実施状況&gt;</b></p> <p>講演会の開催</p> <p>デザイナーの喜多俊之氏による講演会 + 座談会を実施。沖縄県内の三線店を対象として行った。</p> <p>講演会では、喜多俊之氏がこれまで行ってきた伝統工芸活性化の取り組みを事例として紹介。スライド、動画を用いた、伝わりやすい内容となった。三線だけの視点ではなく、他の工芸ではどのような取り組みがあるのかを知ること、広い視野、新しい知見の紹介を行うことができた。</p> <p>座談会では、参加者一人一人が意見・質問を話し、それに対して喜多氏が回答・コメントしていく流れをとった。県内三線店が一同に会し、お互いの意見を聞きあうことで、三線店の組織化・連携に向けての空気感作りの一助を果たすことが出来たと捉えている。</p> <p>ブランド化施策詳細化</p> <p>第2回委員会で提案したブランド化の方向性を踏まえつつ、ブランド化施策の更に具体的な内容について検討を行った。</p> <p>実行チームミーティングの開催</p> <p>実行チームミーティングを3回実施し、ブランド化施策の詳細検討や、2007年に入ってから動き方の検討などを行った。</p> <p><b>&lt;担当者のコメント&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講演会 + 座談会を通じて、三線店がお互いの顔を突き合わせて、お互いの意見を確認することができた。会が終了した後も、自発的な名刺交換・交流が行われ、組織化に向けた一歩目としては良い感触を得られたのではないかと捉えている。また、座談会内でも連携の重要性を唱える意見もいくつも出ていた。</li> <li>今回生まれたこの組織化・連携に向けての流れを、どのように継続し、形にしていくかというポイントを十分に踏まえながら、2007年2月に実行予定の講演会 + 報告会の企画設計を行っていきたいと考えている。</li> </ul>